

MATSUO TOSHIO — A Retrospective

松尾敏男(1926-2016)は日本画壇の重鎮として多くの名作を生み出しました。日本美術院を主要舞台として、生と死をテーマに斬新な作品を描いた1960年代。これを機に氏の描く作品は大きな反響を呼びました。一方で、晩年の瑞々しい牡丹の作品に代表される高い技術と崇高な精神性は他の追随を許すことなく「牡丹の名手」として日本画壇にその名を刻んでいます。松尾氏の師は堅山南風(1887-1980)ですが、さらに南風の師匠は横山大観(1868-1958)であり、彼らの精神を受継ぐ松尾氏はまさに日本画の王道を生きた画家といえるのではないのでしょうか。

このたびは、さくら市ミュージアム開館25周年を記念して日本画家・松尾芸術の真髓に迫る展覧会を開催いたします。また、氏の作品を主軸に、横山大観、堅山南風、そして当市出身で南風の友人・院展同人の荒井寛方を同時に展示し、それぞれの関連性と時代を紹介します。

松尾敏男さん 推薦文



画家、映画評論家、体操選手、どの道に進んでも成功したであろう天才、松尾敏男さん。アヴァンギャルドな発想と軽やかな仕事への取り組み方は日本画壇の老巨匠というイメージを覆した。

山田洋次



①



②



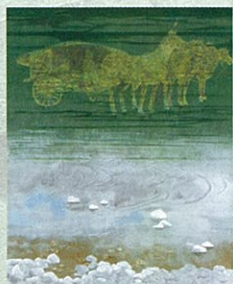
③



④



⑤



⑥

料金 一般600(500)円、高校・大学生400(300)円、小・中学生200(100)円

●()内は20名以上の団体料金 ●さくら市民は半額、さくら市内小・中学生は無料 ●障がい者手帳をお持ちの方とその介護者は半額 ※割引の併用はできません。

開幕記念式典

3月24日(土)午前11時—11時30分
場所=展示会場(展示ホール)
※申し込み不要 観覧料でご参加ください。

オープニングトーク

3月24日(土)開幕式終了後午前11時30分—12時
※知られざる作品誕生のとおきのお話
場所=展示会場

講演者: 松尾由佳氏(松尾財団理事長)
那波多目功一氏(日本美術院同人・代表理事)

コンサート

3月24日(土)午後1時30分—2時30分
場所=展示会場(展示ホール)
出演: オペラユニット LEGEND
スーパーユニット LEGENDの登場!
※観覧料でご参加ください。



さくら市ミュージアム

特別鑑賞会

3月31日(土)、4月7日(土)、14日(土)、21日(土)、28日(土)
※いずれも午後2時から3時、観覧料でご参加ください。
3月31日(土) 担当: 当館学芸員
4月7日(土) 講師: 松本高明氏(日本美術院同人)
14日(土) 講師: 齋藤満栄氏(日本美術院同人)
21日(土) 講師: 荒井孝氏(日本美術院特待 文星芸術大学特任教授)
28日(土) 講師: 宮北千織氏(日本美術院同人 文星芸術大学教授)

開館記念の日

開館25周年記念イベント
大町朋子ピアノリサイタル
4月29日(日)午後2時—3時
場所=展示会場(展示ホール)
※当日は終日無料開放

田井中将希朗読

「松尾敏男珠玉のエッセイ」
5月3日(木・祝日)午後2時から3時 ※観覧料でご参加ください。
場所=展示会場(展示ホール)
朗読: 田井中将希(俳優) ピアノ: 松尾由佳



さくら市ミュージアム
— 荒井寛方記念館 —
勝山城跡 勝山公園

交通のご案内

●自動車をご利用の場合
東北自動車道宇都宮インターチェンジより車で30分。同、矢板インターチェンジより車で20分。同、上河内スマートインターチェンジ(ETC専用)より車で20分。
●鉄道をご利用の場合
JR宇都宮駅から東北本線(宇都宮線)にて3駅目、JR氏家駅下車。JR氏家駅からタクシー乗車(約5分)。

さくら市ミュージアム 荒井寛方記念館
〒329-1311 栃木県さくら市氏家1297
電話028-682-7123 FAX 028-682-7854

表面《翠苑》(部分)
2001年 衆議院
背景《朝つゆ》(部分)
2001年

検索

URL = <http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/site/sakura-museum>